

## Q ばね指手術後腫れ・しびれ



1か月前、右手親指の「ばね指」の手術を受けましたが、腫れとしびれが残っています。動かしにくい感じもします。執刀医からは、いずれは改善すると

説明を受けていますが、元通りになるのでしょうか。痛みはほとんどありません。(75歳女性)

## 手の治療の専門医に相談を

### A

指を自由に動かせるのは、筋肉と骨を結びつけてい

る「腱」があるからです。腱をトンネルのように包んで骨に固定しているのが「腱鞘」です。ばね指は、

腱鞘炎の一種で、腱の通りが悪くなり、痛みや指の動かしにくさなどの症状が表れます。進行すると、ばねのように、曲げた指を伸ばす時にカクツとなります。

特に、草むしりなどのように繰り返し手を使い過ぎることにより引き起こされやすく、更年期の女性や、糖尿病の持病がある人がなりやすい病気です。軽ければ手を休ませ、冷やすことで自然に治ります。良くならなければ、腱鞘内にステロイド薬を少量注射して、

腱や腱鞘の腫れをひかせれば3、4日で軽快します。

注射で治らない時や再発を繰り返す場合には、手術をします。皮膚を小さく切り、腱鞘を切り離して腱の通りを良くするために行う方法で、短時間で終わります。

手術の傷がなじむまでには3か月ほどかかり、しばらく腫れや軽いしびれが残ることもあります。ただ、まれに手術時に指の神経を傷つけてしまうこともあります。強いしびれが続いて感覚も鈍いようなら、神経を修復させる必要があるかもしれません。手を専門に治療する医師に相談してみたいかがでしょうか。日本手外科学会のウェブサイトで紹介しています。

質問

埼玉慈恵病院手外科研究所長 (埼玉県熊谷市)

福本 恵三